

松江市史 通史編3 近世I

目次

口絵

発刊にあたって

目次

凡例

概観

近世とは／松江藩とは／松江藩による領域支配／村の成立／城下町松江の建設／幕藩制と松江藩／藩政の成立と家老／藩領社会の変容／郡村役人と藩政改革／近世後期の松江藩

第一章 松江藩の成立

第一節 松江藩の成立と堀尾氏

14

1

14

2

一	堀尾氏の入国と領国支配	14
	堀尾吉晴／関ヶ原合戦前後の堀尾氏の動向／初代藩主堀尾忠氏／松江遷地／松江城築城	
二	堀尾氏の検地と地域社会	20
	堀尾氏の検地／慶長十四年の杵築大社造営	
三	堀尾氏の支配と家臣団	30
	堀尾氏三代の発給文書／堀尾氏の宿老層の発給文書／堀尾氏の御家騒動／堀尾氏の家臣団	
四	堀尾氏の改易	46
	堀尾忠晴／軍役と普請役負担／忠晴の死去／その後の堀尾氏と家臣団	
第二節	京極氏の入国	54
一	京極氏の入国と領国支配	54
	堀尾家断絶から忠高入国まで／出雲・隠岐を拝領し赴く／寺社領安堵／菩提寺安国寺／政策の命令系 統／領国統治の指示／日御碕社の造営／地域の社の再建・修築／斐伊川・伯太川の若狭土手造成／鉄山 政策の転換―鉄穴流しの認可―／参勤交代／石見・銀山支配／隠岐の支配／家臣団の再編／城下町の整 備／忠高の教養と趣味／忠高の死／跡目の決定	
第三節	松平家の入国	76
一	松平直政の松江入部	76
	直政の出雲拝領と松江入部／直政の出自／松江入部以前の直政／出雲拝領の政治的背景／譜代大名松平 直政／松江松平家の領知／西国における直政の役割／つくられた直政像	
二	家臣団の形成	88
	家臣団の拡大過程／重臣たちとその出自／松江入部に伴う牢人登用／堀尾・京極旧臣の登用／大橋茂右 衛門と堀尾但馬	

三 前期の藩政……………98

前期藩政の課題／参勤交代と家老／直政期の家老たち／家老と仕置役／前期藩政の担い手／藩政機構の確立／寛永飢饉と松江藩／隠岐国の支配／直政から綱隆へ／寛文六年の法令／綱隆期の家老と仕置役

第四節 松江松平家の世界……………123

一 江戸幕府と松江松平家……………123

江戸の大名社会と松江松平家／松江藩の家格／松江藩の家格上昇運動／京都市上使／松江藩の江戸上屋敷／松江藩の江戸中屋敷／松江藩の江戸下屋敷と抱屋敷／大坂蔵屋敷と京都屋敷／江戸留守居と留守居組合／松江藩の江戸留守居／大坂留守居と京都留守居／江戸に集う人々

二 松江松平家と諸大名……………144

越前松平家一門の形成／松江藩分家の成立／一門・分家の役割／松江藩主の妻妾と子女(直政・宗衍)／松江藩主の妻妾と子女(治郷・定安)／松江松平家の縁組戦略

三 松平家の交際と女性たち……………161

松江藩の「大奥」と「仕立所」／近世前・中期の松江藩大奥／近世後期における松江藩大奥と仕立所／幕末における松江藩大奥／奥女中の待遇／大奥付の男性家臣／大名家の子女教育／正室の役割とその限界／【コラム①】松平宗衍の行状

第二章 藩政の展開と終焉

第一節 藩政の展開……………186

一 家臣団と藩政機構……………186

格式と職制／「給帳」にみる家臣団構造／「大老」と「大名分」／家老家格の成立／家臣団構造と軍制／「列士録」という史料／「列士録」の編纂／知行宛行状の発給／知行の種類と支給方法／上申と下達／国令の編纂

二	近世中期の藩政	213
	網近の時代／幼少藩主と先例主義／財政窮乏と家中困窮／寛保元年の家老訴訟／藩政立て直しに向けて	
三	藩政改革の政治過程	223
	宗衍の初入国に伴う政治動向／小田切備中の登用と直捌／延享の改革の政治理念／延享の改革のゆくえ／財政破綻と宗衍の病状／世子治郷への期待／宗衍の隠居／御立派改革に向けて／家老・仕置役朝日丹波／御立派改革の評価／御立派改革の継承	
第二節	松江藩財政政策の展開	243
一	十八世紀前半までの藩財政	243
	藩政改革の前提として／松江藩の石高と藩財政／寛文十二年の財政／年貢収入の推移／財政改善の試み／請免請捨制の導入／京都・大坂商人との関係／両替善五郎の悲劇／「藩政改革の時代」へ	
二	延享の改革	252
	宗衍の親政と藩財政／木実方の設置／義田／検見の実施／泉府方／藩札／検地／借財整理／「四人蔵元」体制／御内用方／常平方の設置／泉府方の失敗と小田切の辞職／小田切の復帰／比叡山延暦寺普請費用の調達／延享の改革が目指したもの	
三	御立派改革	266
	宇佐美瀧水の延享の改革批判／小田切備中のその後／朝日丹波の再登場／朝日丹波と宇佐美瀧水／藩札の停止／五万俵割の開始／欠年の実施／農民の負担増／へそくりとしての木実方／大坂銀主との交渉／御納戸金改革／朝日の退任／御立派改革をどう考えるか	
四	御立派改革の転換	280
	朝日丹波の死／藩札の再発行／様々な「紙幣」の流通／大坂銀主との関係／続く領民への負担転嫁／近藤庄蔵の領内巡検／治郷の御直捌／連判札の発行／朝鮮人参生産の拡大／銭一貫文札・五〇〇文札の発行 ― 藩札の急増／札座の資産運用	

	五 「出入捷覧」の世界……………	293
	「出入捷覧」の成立／収支の推移／松江藩の財政は特別なのか／借金はなかったのか／借入↓返済↓借入のサイクル／特別会計「御蔵」の存在／「出入捷覧」を活用するためには	
	六 幕末の藩財政……………	302
	嘉永四・五年の松江藩「財産目録」／役所資産目録／各役所の資産について／大坂商人への貸付／志儀と松江藩／鶴部屋橋御金蔵の資産／続く領民負担／鴻池栄三郎との関係からみる幕末の藩財政／松江藩から鴻池への貸付／廃藩置県時の松江藩借金	
	第三節 近世後期の藩政……………	318
一	齊恒・齊貴期の政治と社会……………	318
	近世後期の幕政と諸藩／幕府による財政負担／齊貴の襲封と積極的な財政支出／改革維持と藩政の停滞／藩内への儉約令／文化期の強訴と郷・町中の殿り合い／国益政策の展開／近世後期の文化事業／近世後期の災害／災害の影響と貧民対策	
二	海防と隠岐預所……………	340
	唐船番の設置と訓練／沿岸警衛と郷夫動員／隠岐預所／隠岐海防の実態	
	第四節 幕末期の政治と社会……………	354
一	松平定安の襲封と警衛……………	354
	三谷忠太郎一件／ベリーの来航と家督相続／諸警衛の変遷／警衛地の藩士／警衛負担削減への模索	
二	周旋方の活動と藩政改革……………	364
	江戸藩邸機能の縮小／松江藩周旋方／雨森謙三郎の政治活動／西洋流砲術の導入と兵制改革／文久期の警衛と農兵／軍艦購入と八雲丸	
三	長州戦争期の松江藩……………	380

第一次長州出兵と福井藩支援／鳥取藩との連携／再征への対応と内乱回避の政情／第二次長州戦争の松 江藩／長州戦争期の諸事件／国境の警備と長州との折衝	392
幕末松江藩領の諸相	392
不安な世相／長州戦争と雲石地域の人々	392
第五節 維新期の政治と社会	400
一 山陰道鎮撫使と松江藩	400
王政復古と鳥羽伏見戦争／松江藩への嫌疑／鎮撫使一行の松江滞在	400
二 隠岐預所をめぐる動向	407
新政府の方針／隠岐騒動と預所支配の終焉	407
三 戊辰戦争と松江藩	411
松江藩出兵／松江藩の活動と駐屯地／松江藩士の戊辰戦争	411
四 松江藩の解体	418
藩治職制と版籍奉還／公議所と議事院／藩制から廃藩置県へ／軍事動向と藩兵解体／仏式採用と軍事改 革の模索	418
五 転換期の社会	429
不穏な世情／浦上キリシタンの配流／【コラム②】戊辰戦争における松江藩士の死と追悼	429
第三章 城下町松江と在方町	438
第一節 城下町松江の空間構造	438
一 城下町の空間を読む	438

第三節 町の自治と住民のつながり	526
一 町役人たち	526
十七世紀後半の大年寄と目代／四人の大年寄／大年寄と大目代の機能／大目代のみの機能／町年寄	
二 多様な住民結合	536
地縁的な関係／祭祀組織／消防組織／文化八年町火消し組織改革／消防活動の様子／火消の警備機能／町方火消と郷方火消の関係	
第四節 城下町の支配	548
一 町奉行の役割	548
町方統治役職の名称／町奉行の機能／裁定者としての町奉行	
二 武士と町人の交流	555
葬式と法事／城内・武家屋敷の神社への参詣／御目見町人／湖上の花火／左義長(左吉兆)／親水遊興／藩主人国／城内御殿や家老屋敷での交流	
第五節 在方にある町―湊町と温泉集落	573
一 三保関の社会構造	573
湊町の空間構造／前期湊町の実態／北国屋と地下中／北国屋の状況／変化の兆候／湊町の社会構造の变化／氏子惣代としての定秀家／定秀家の屋敷	
二 玉造温泉	587
全国的には／温泉の由来と災害／持続的な温泉利用のしくみ／温泉の概要／温泉の空間／利用の実態／十九世紀の変化／十九世紀前半の社会関係／湯之助グループ外からの変化／温泉の過剰利用／自然資源の保全と利用という共同利益／【コラム③】松江の安政南海地震／【コラム④】城下町の近代―屋敷の分割と都市機能の集積―	

第四章 郡・村政の仕組み

第一節 郡・村の役人

- 一 松江藩による郡・村政の概要……………616
 - 町方と郷方の区別／郷方支配を担った藩の武士たち／身分集団を前提とした支配／郡役人と行政区画／村役人の構成／頭分と村内身分……………616
- 二 郡・村役人の業務……………624
 - 御用留の世界／文書の受け渡しと郡・村役人／藩主の意向と郡・村役人／江戸幕府の触／「正月十一日の御条目」／宗門改／郡奉行所触／与頭の追記／触の諸相……………624
- 三 年貢諸役の納入……………637
 - 「早米」の納入／検見／輪を単位とした検見／年貢納入の完了……………637
- 四 願書と届……………641
 - 意見聴取と政策への反映／願書と届書／願書提出の手続き……………641
- 五 郡・村政の担い手……………645
 - 郡方の構造と郡・村政の担い手／郡足輕の役割／郡足輕の書状／行政における「公」と「私」……………645
- 六 郡・村政と藩政機構……………651
 - 郡・村役人の文書伝達ルート／代官所／郷方吟味役の役割／地方役の役割／山方／鷹部屋による鉄炮改／鉄炮の修復／複数の部局にかかわる案件……………651
- 七 郡・村役人と藩の役人……………658
 - 郡・村における藩の役人の把握／人事異動……………658

八 郡・村政を支えるもの	664
郡・村役人の任命／郡・村役人の褒賞と格式／郡屋・物書・郡宿	
第二節 郡・村の税負担	667
一 村請制と年貢の賦課・負担	667
村請制と年貢免定／年貢の納入／年貢の先納／先納と地方行政	
二 藩政改革と松江藩の税体系	673
民間資本の導入と藩政改革／先納分の算用／年貢の割付／年貢納入と升／「割符請け」と「払い」／比叡山延暦寺の普請／「御勝手御任せ」／比叡山延暦寺普請入用の返済／郡・村役人の職掌の拡大	
三 御立派改革と納税制度の転換	684
御立派改革と五万俵割／五万俵割の賦課と負担／五万俵割と豪農・豪商／五万俵割の納入／藩政改革と課税体系／財政改革と「立派」	
第三節 百姓の成り立ちと郡・村政	691
一 「殿り合い」による百姓成り立ち	691
文化十四年の儉約令／儉約の内容／儉約令の実施／郡・村への儉約令の伝達／「殿り合い」の作成／「殿り合い」の作成から完了／天明七年の「殿り合い」	
二 「殿り合い」と郡・村政	699
郡・村財政への藩の介入／「殿り合い」と頭百姓／「殿り合い」の実現と村内階層の維持／郡単位の「殿り合い」／繰り返される「殿り合い」／「殿り合い」政策の展開	
第四節 訴願と文書行政	707
一 松江藩の民事裁判制度	707
願書の作成と提出／願書提出における下郡・与頭の役割／村々からの届／紛争処理と訴願／下郡・与頭	

による内済／内済から訴願へ／藩への提訴／再び内済へ／裁許状の手渡し／裁許状の作成／他領との争論／藩による裁判文書の管理

二 様々な訴願と届 716

他国出の届／「願」と「訴」／諸願書差し出しの期日／手続き漏れ

三 松江藩の刑罰 722

刑罰の種類と執行過程／町中引き廻しのうえ礫／重大事件のうわさ／打首―相撲取りを騙る／打首―公文書の強奪／松江払い／追放者／戸ノ／禁足

第五節 領主と郡・村 731

一 松江藩の知行制 731

蔵米知行制／百姓の割り付け

二 武士の来村と郡・村 737

参勤交代と藩主の領内巡郷／受入れ準備と御目見／藩主御目見の意義／藩士の来村と宗門改／宗門改と郡・村政／藩士来村を支えるもの／【コラム⑤】古文書のなかの「共通語」と「方言」

参考文献一覧 746

堀尾氏関係系図 774

京極氏関係系図 776

越前系松平家関係系図 778

松江市史編纂関係者名簿

執筆分担

目次

協力者一覧

郡奉行一覧

寺社町奉行一覧

御仕置役一覧

藩主略系

索引

1 22 24 27 30